

2018 年度湘南藤沢学会「研究助成基金」成果報告書

International Electronics Symposium on Knowledge Creation and Intelligent Computing (IES-KCIC) 2018

口頭発表

慶應義塾大学環境情報学部 4 年 井上紗里

1. 活動日程・場所

日程：2018 年 10 月 29 日 ～ 2018 年 10 月 30 日
会場：The Patra Bali Resort & Villas (インドネシア)

2. 活動の目的

インドネシアのバリ島で開催される、International Electronics Symposium on Knowledge Creation and Intelligent Computing (IES-KCIC) 2018 にて口頭発表を行い、コンピューターサイエンスの新しい応用方法を提案する。また、本学会には、医療やロボティクスなど様々な分野の研究者が集まっているため、他の研究者の話から自分の研究に新たな視点やアイデアを取り入れ、自身の研究を深めていく。

3. 発表内容

絶滅危惧種に関わる影響ネットワークを、様々なコンテキストによって分

析し、可視化する知識獲得システムを提案する。この研究は、環境学、社会学、そして SDGs などの世界的な課題の解決に応用できると考える。SDGs とは、国際連合が 2015 年に定めた「持続可能な開発目標」であり、生物多様性の保全もその目標のひとつとなっている。このシステムは、一般の人々が、現在起こっている環境問題について感覚的に捉え理解することを促し、各個人や団体が環境問題の解決の方法を考え、実行していくことを動機付けることを目的にしている。

4. 活動の成果

本学会に参加し発表をさせていただいたことで、自分の研究への理解が深められ、これから進めていくべきことが明確になった。また、他国の研究者たちの様々な領域の研究を知れ、とても刺激を受けた。さらに、本学会の中での交流から、インドネシアの大学での私の今後の数ヶ月のインターンシップ計画を具体的に話すことができ、研究への大きなモチベーションを得た。



口頭発表の様子

5. 今後の発展

今回の学会参加で得たアイデアを自分のシステムの中に取り入れ、より良いシステムの構築を目指していく。また、インドネシアの大学でのインターンシップに向け、現地での研究活動を練る。